



志村学園

令和6年9月2日
東京都立志村学園
校長 並木信治
高等部就業技術科
第5号

それぞれの、夏

校長 並木 信治

「観測史上初の」「過去に例のない」「誰も経験したことのない」…こうした枕詞で始まる気象情報が今年も数多く聞かれた夏季休業期間でしたが、無事に授業を再開することができ、安堵しております。今年も暦の関係で、44日間と非常に長い夏休みとなりました。各御家庭の御理解、御協力に感謝申し上げます。厳しい暑さの中、子供、大人ともに頑張りました！

就業技術科においては、各部活動での取組が予定通り進められました。科学館や美術館、食品工場などでの校外活動、他校との練習試合や合同練習の他、バスケットボール部は東京都障害者スポーツ大会、サッカー部はSGリーグ戦、バレーボール部は全日本IDバレーボール大会、卓球部はSON東京・卓球大会、陸上競技部は江東区ナイター陸上大会にそれぞれ出場し、日ごろの練習の成果を発揮して好成績を収めました。教員は、今年度及び来年度本校が人権尊重教育推進校に指定されたことを踏まえ、外部講師による研修で研鑽を深めました。

肢体不自由教育部門では、今年度初めて開催されたボッチャ大会「CIAOカップ」に中高部活動メンバーが出場し、好成績を収めました。また、各種自主研修や医ケア研修、第三号研修で教員が学びを深めたほか、石川県金沢市で開催された全肢P連（全国主体不自由特別支援学校PTA連合会）大会に代表者が参加し、有意義な情報収集を行いました。特に、今年1月の能登半島地震の発災時の様子や、その後の障害のある子供たちの安全確保の経緯についての報告は、今後の防災を考えていく上で大変参考となるものでした。

まだまだ暑い日が続きます。安全第一で教育活動を進めて参りますので、引き続きの御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



一泊二日宿泊防災訓練

生活指導部 坂田 亜優

7月12日（金）から13日（土）、高等部就業技術科1年生と肢体不自由教育部門高等部1年生が、本校にて一泊二日宿泊防災訓練を行いました。今年度は、生徒自身が実際に体験することに重点を置いて実施しました。消火器訓練、救急救命訓練では、志村消防署と連携を図り実践的な説明をしていただきました。消火器やAEDを初めて扱う生徒も多く、一人ではなく周囲の人と協力することで、命が繋がっていくことを学びました。防災学習では、スマート・スクール端末を活用して、南海トラフ地震について学習し、避難場所設営訓練では、多数の被災者が避難所生活を過ごしていくことをイメージしながら就寝場所を設営しました。災害備蓄品利用訓練では、食べることは生きること、食事のありがたみを実感しました。教室の電気を消し、ランタンを活用して、停電下での食事を体験しました。訓練中、不便に感じたこともありましたが、生徒一人一人に限られた環境の中で、取り組むべきことに真剣に向き合うことができました。自助・共助の大切さと実践的な経験を忘れずに、いつ起こるか分からない災害への備えとしていきます。



職業に関する教科の紹介

「流通・都市農園芸サービスコース」の学び

コース主任 須貝 仁、曾我 大介

流通とは、生産者から消費者の「物や情報の流れ」のことを言います。志村学園での「流通」では、流通の基本的な知識を座学で学んだり、物流会社やスーパーマーケットで授業内実習を行ったり、実践に即した学習をしています。「都市農園芸」では、野菜や草花、観葉植物の栽培・管理、花壇の緑化管理を中心に基本的な農業教育を学習しています。春と秋に東京都庁「都民の広場」花壇にも植え付けを行っています。



「食品加工コース」の学び

コース主任 八嶋 直子

お客様に喜んでいただくための接客サービス、安心して美味しい料理を提供するための調理を1年次から学んでいます。食品加工コースで運営しているカフェドノヴィスでは、2カ月に1回のランチと月に2回のカフェを営業しています。練習通りにいかない時、個人の粘り強さやチームで協力することの大切さを実感し、また毎回多くのお客様から感謝の言葉を掛けていただくことが働く楽しさに繋がっています。



「ビルメンテナンスコース」の学び

コース主任 徳岡 壮平

ビルメンテナンスコースでは、受注清掃が増加しています。依頼された業務内容を確認し、清掃場所の使用目的、利用者、使用状況等に気を付けて生徒は現場に向かっています。常に顧客を意識することを心掛けています。多くの方から「ありがとう」と言われる「ステキな大人」を目指して今後も学びを進めていきます。



「介護・コミュニケーションコース」の学び

コース主任 武田 亘生

介護技能や適切なコミュニケーションの取り方、高齢者の生活を支える洗濯・清掃などの技能を身に付けています。「ホテル」では、おもてなしの心を大切に、ベツトメイク、消毒、接遇などの技能を身に付けています。授業内実習で、客室のシーツ交換や高齢者とのレクリエーションや車いす清掃などに取り組んでいます。関わる方の笑顔や感謝される言葉に仕事のやりがいを感じられる学びとなっています。



「事務・情報処理の学習」の学び

コース主任 藤永 花野

「事務・情報処理の学習」は、生徒全員が3年間継続して学習します。データ入力や印刷など事務系の就職を目指すための知識だけでなく、どの職域でも通用する事務・情報処理のスキルを学んでいます。また、依頼業務や特別専門講師によるビジネスマナー講座を通して社会人になるための知識・働く姿勢を身に付けています。

